

この街に
この人あり

大好きな歌でたくさんの 出会いが

70年代に一時アイドル歌手デビューした経験をお持ちの大平幸子さんに、
歌手として活動を再開された思いを伺いました。



大平幸子さん

歌うきっかけは何でしたか

2010年の暮れに手術が決まりショックを受けていた時、高校時代の恩師の個展へのお誘いを受け荻窪駅南口仲通りにある「ギャラリー遊美」へ出かけました。そこでグランドピアノを見て「歌いたい」とつぶやいたのが始まりです。「入院までにライブやりましょうよ」と言う先生ご夫妻や皆さんの声で、手術を1週間後に控えた翌年2月に初めてのコンサートを開くことができました。このことが力になり退院後レッスンを再開しました。

現在の活動や地域との交流は

最初のコンサートで恩師永富先生ご夫妻の紹介でピアノ伴奏をしてくださった安富先生が応援する、東日本大震災の遺

児支援のボランティア活動「夢のつばさプロジェクト」による「トミーと素敵な仲間たち」へ私も歌を通して参加させていただきました。

このような活動を通して新しいたくさんの出会いがあり、地域のイベントや第26回荻窪音楽祭にも参加することが出来ました。

大平さんにとって人生のモットーとは

荻窪音楽祭に出場させて頂いて以来クラシックを勉強中です。人生の転換期が訪れたこの荻窪に35年在住して、たくさんの人々とふれあい、心を込めてポピュラーからシャンソンまで幅広く歌い続けていきたいと願っています。



第26回荻窪音楽祭



トミーと素敵な仲間たち



「遊美」さんでの初コンサート